しょう3 こくご「話し合い・新聞・文の 書き方」 その3

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿　　がつ　にち　てん ＿＿＿＿ / 20

1　物語ばかり 読んで いる 人に すすめたい 読み方は?

ア 本の 題名を 見て おわりに する　イ 本を 読むのを やめる

ウ 同じ 本を 何回も くり返し 読む　エ せつ明の 本や 図かんなども 読む　こたえ ＿＿＿＿

2　話を 聞きながら メモを 取る とき、よい 書き方は?

ア 大事な 言葉を 短く 書く　イ 聞きおわってから 思い出して 書く

ウ ていねいな 文で 長く 書く　エ 話を 一字も のこさず 書く　こたえ ＿＿＿＿

3　次の うち、ふつう「だ・である」で 書く ことが 多い ものは?

ア 新聞の きじ　イ お客さんへの あいさつ　ウ おばあちゃんへの はがき

エ 先生に 出す お礼の 手紙　こたえ ＿＿＿＿

4　「明日は 遠足が ある。」を「です・ます」に した 文は?

ア 明日は 遠足が あるのだ。　イ 明日は 遠足が あった。　ウ 明日は 遠足が あります。

エ 明日は 遠足が ありました。　こたえ ＿＿＿＿

5　きじに「いつ・どこで・だれが・何を・なぜ・どのように」を 入れると どう なる?

ア 何が あったかが 正しく つたわる　イ きじが 読みにくく なる

ウ 見出しが いらなく なる　エ 読む 人が へる　こたえ ＿＿＿＿

6　ものを なかま分けする とき、まず 決めると よい ことは?

ア 分ける ものの ならべる じゅん　イ 何を もとに 分けるかと いう 見方

ウ なかまの 名前の 字の 大きさ　エ 分けおわる 時こく　こたえ ＿＿＿＿

7　話し合いで「ぎ題」と いうのは 何の こと?

ア 話し合って 決める ことがら　イ 出た 意見を 書いた 紙　ウ 話し合いに かかった 時間

エ 話し合いを 進める 人　こたえ ＿＿＿＿

8 目次と さくいんの ちがいで 正しい ものは?

ア どちらも 本の おわりに ある　**イ** 目次は 本の はじめ、さくいんは 本の おわりに ある

ウ 目次は 本の おわり、さくいんは 本の はじめに ある　**エ** どちらも 本の はじめに ある

こたえ ＿＿＿

9 新聞の きじで、見出しの すぐ あとに、きじの あらましを 短く まとめた 文を 何と いう?

ア リード文　**イ** 目次　**ウ** あとがき　**エ** 本文　こたえ ＿＿＿

10 「3年生が 町の 図書館を 見学した。」この 文に 書かれて いない ことは?

ア いつ　**イ** だれが　**ウ** どこで　**エ** 何を した　こたえ ＿＿＿

11 「3日の 9時に 校門に あつまります。水とうと ぼうしを わすれずに。」メモと して 正しい ものは?

ア 3日 9時 校門 / 水とう・ぼうし　**イ** 3日 9時 校庭 / 水とう・ぼうし

ウ 3日 7時 校門 / 水とう・ぼうし　**エ** 13日 9時 校門 / 水とう・ぼうし　こたえ ＿＿＿

12 本の おわりの ほうに あって、大事な 言葉が 五十音じゅんに ならび、その ページが 分かる ものは?

ア さくいん　**イ** 表紙　**ウ** 目次　**エ** まえがき　こたえ ＿＿＿

13 話し合いの おわりに、し会が する ことは?

ア はじめの 意見を くり返す　**イ** 新しい ぎ題を 出す

ウ 決まった ことを まとめて たしかめる　**エ** だれが まちがえたかを 言う　こたえ ＿＿＿

14 図書館で 読みたい 本の ある たなを さがす ときの 手がかりに なる ものは?

ア 本の あつさや 大きさ　**イ** 本の 表紙に ある 絵の 色　**ウ** 本の うらに 書いた ねだん

エ たなに ついた 本の なかまの 番号　こたえ ＿＿＿

15 「その 日は 風が 強かったです。木の えだが ゆれて いた。」を「だ・である」に そろえた ものは?

ア その 日は 風が 強かった。木の えだが ゆれて いた。

イ その 日は 風が 強い。木の えだが ゆれて いる。

ウ その 日は 風が 強かったです。木の えだが ゆれて いた。

エ その 日は 風が 強かったです。木の えだが ゆれて いました。　こたえ ＿＿＿

16 「ぼくは 反対です。遠足は 公園が よいと 思います。」この 意見に 足りない ものは?

ア です・ますの 言い方　**イ** 何に したいかと いう 考え　**ウ** 話して いる 人の 名前

エ そう 考えた わけ　こたえ ＿＿＿

17 話し合いで、「のこりは あと 5分です」と みんなに 知らせる 役わりは?

ア 発表する 人　**イ** 記ろく係　**ウ** 時計係　**エ** し会　こたえ ＿＿＿

18 メモを 取って いて、聞きのがした ところが あった。どう する?

ア あとで 話した 人に たずねて たしかめる　**イ** 自分で 考えて うめて おく

ウ その メモは すてて しまう　**エ** 友だちの メモを だまって うつす　こたえ ＿＿＿

19 調べた ことを なかま分けして 書くと、どんな よい ことが ある?

ア 調べた 数が ふえる　**イ** にて いる ことが まとまり、分かりやすい

ウ 読む 人が まよいやすく なる　**エ** 書く ことが 少なく なる　こたえ ＿＿＿

20 「夏休みに 海へ 行きました。とても 楽しかったです。また 行きたいと 思った。」文の おわりが そろって いない 文は?

ア 夏休みに 海へ 行きました。　**イ** また 行きたいと 思った。　**ウ** とても 楽しかったです。

エ そろって いない 文は ない　こたえ ＿＿＿

こたえと かいせつ　しょう3 こくご「話し合い・新聞・文の 書き方」 その3

1　**エ せつ明の 本や 図かんなども 読む**

いろいろな しゅるいの 本に 手を のばす。

2　**ア 大事な 言葉を 短く 書く**

話は どんどん 進んで いく。

3　**ア 新聞の きじ**

多くの 人に ことがらを 知らせる 文。

4　**ウ 明日は 遠足が あります。**

明日の ことなので、むかしの 言い方に しない。

5　**ア 何が あったかが 正しく つたわる**

読む 人が 知りたい ことが そろう。

6　**イ 何を もとに 分けるかと いう 見方**

色で 分けるか、形で 分けるか。

7　**ア 話し合って 決める ことがら**

「今日の 話し合いの テーマ」の こと。

8　**イ 目次は 本の はじめ、さくいんは 本の おわりに ある**

さくいんは 本の うしろの ほう。

9　**ア リード文**

読む 人を きじに みちびく 文。

10　**ア いつ**

日にちは 書いて あるかな。

11　**ア 3日 9時 校門 / 水とう・ぼうし**

日にち・時こく・ばしょを 一つずつ くらべよう。

12　**ア さくいん**

言葉から ページを さがす。

13　**ウ 決まった ことを まとめて たしかめる**

みんなが 同じ ことを 分かって 終わる。

14 **エ たなに ついた 本の なかまの 番号**

同じ なかまの 本は 同じ たなに ある。

15 **ア その 日は 風が 強かった。木の えだが ゆれて いた。**

「です」を とり、むかしの 言い方の まま に する。

16 **エ そう 考えた わけ**

聞いた 人が「なぜ?」と 思う ところ。

17 **ウ 時計係**

話し合いの 長さを 見て いる 係。

18 **ア あとで 話した 人に たずねて たしかめる**

まちがった メモは 役に 立たない。

19 **イ にて いる ことが まとまり、分かりやすい**

ばらばらの ままより 読みやすい。

20 **イ また 行きたいと 思った。**

一つだけ「です・ます」で ない 文が ある。